

2023年10月12日

工作機械との連携で操作性を向上させた 協働ロボットセル “Ez LOADER 30”

ヤマザキマザック株式会社（社長：山崎高嗣、愛知県大口町、TEL：0587-95-1131）は、工作機械と簡単に接続できる協働ロボット「Ez LOADER」シリーズに「Ez LOADER 30（イージローダ 30）」を追加、10月18日より販売を開始します。

昨今、各業界で人手不足などを背景に省人化・自動化ニーズが高まり、業務効率化が求められています。製造現場においては、人的資源を付加価値の高い業務にシフトし、反復作業はロボットで代替する動きが広がっています。このような中、当社は誰でも簡単にセットアップでき、導入後の移設にフレキシブルに対応する自動化セル「Ez LOADER」シリーズの販売を2021年に開始しました。

今回、新たにシリーズに追加された「Ez LOADER 30」は、従来機種（Ez LOADER 10, 20）に対して可搬重量を向上。これにより、鉄系など重量物の加工が可能となり、お客様の幅広い加工ニーズに対応します。

また、新たに専用ソフトウェア「Ez LOADER アプリケーション」を開発。工作機械の操作盤にソフトウェアを組み込むことで、ロボットをティーチングレスで運用することが可能です。ロボットを運用するために必要な情報は CNC 装置からデータ取得するため、段取り時間を大幅に短縮します。

その他、新機能として自動でロボットハンドを交換できる「ハンドチェンジャ」（※オプション）を搭載。シングルハンド、ダブルハンドの2種類を用意することで、多品種少量生産に対応します。

当社は、10月18日より「Ez LOADER 30」の販売を開始、同日からポートメッセなごやで開催される MECT2023 に出展します。今後もお客様のニーズに合わせた最適な自動化ソリューションの提供により、製造現場の働き方改革を支援します。



【Ez LOADER 30 と複合加工機（INTEGREX i-200H S）との接続例】